

令和5年10月16日

第4回東京都エネルギー問題アドバイザーボード

午前11時開会

【坂本局長】

それでは、お待たせをいたしました。定刻となりましたので、これより第4回になりますが、東京都エネルギー問題アドバイザーボードを開会したいと思います。

私は東京都産業労働局長の坂本でございます。議事が始まりますまでの間、進行役を務めますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

本日は、森本委員が所用のため欠席とのご連絡をいただいております。オンラインでのご参加も含めまして、5名の委員の皆様にご出席を賜っているところでございます。

また、本日はオブザーバーとして、資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部水素・アンモニア課長の日野由香里様にもお越しをいただいております。何とぞよろしくお願いいたします。ありがとうございます。

冒頭、小池知事なんですが、本来であれば、ここでご挨拶をすべきところですが、公務が急遽入った関係でかないません。私から知事の挨拶を代読させていただきたいと思っております。

皆さん、こんにちは。東京都エネルギー問題アドバイザーボードへのご参加ありがとうございます。前回の会議では、今後の電力や熱エネルギーの効率的な活用、水素の利用推進などに関して幅広くご意見をいただきました。世界の様相が刻々と変化する中、総合的な安全保障が問われています。エネルギー利用の在り方もますます重要となってきました。喫緊のエネルギー問題への対策と異次元に突入したかのような気候変動への対応、この2つを同時に進めていかなければなりません。

再生可能エネルギーの普及拡大と電力の安定確保に向けて東京がなすべきことをあらゆる角度から考え抜き、都民、事業者の皆様と力を合わせて具体的な行動に邁進していきたいと思っております。例えば最終エネルギー消費量のうち、大きな割合を占める熱の有効活用を図っていくことが必要だと思っております。また、水素の活用では、国の戦略も踏まえ、巨大な需要地となる東京が未来を変える新たなアクションを起こしていくことが重要です。ゲームチェンジとなる取組が求められます。今日はエネルギー需給や水素の利用に関し、国との連携も含めて具体的な取組をさらに深掘りをしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

以上でございます。